

アイヌ語地名を歩く

山田秀三の地名研究から

アイヌ語地名研究の第一人者である、

故・山田秀三氏の資料から、

広尾町とその周辺での地名調査を記録した

地図やノート、写真などを紹介します。



山田秀三氏による地名調査資料の一つ。
国土地理院による5万分1地形図「広尾」に、古地図の地名や現地調査の記録などを書き込んだもの。

2024. 6. 12(水) → 6. 26(水)

会場 広尾町児童福祉会館 2階 大ホール
広尾郡広尾町東2条10丁目1

時間 9:30～17:30 休館日 月曜日

入場
無料

◆ 記念講演会（展示会場内で開催します）

◆ 6月12日(水) 10:00～11:30

「山田秀三と広尾

—広尾の地名調査資料や広尾の人びととの関わりにそって—

講師：小川正人（北海道博物館 アイヌ民族文化研究センター長）

◆ 6月18日(火) 19:00～20:30

「沼田武男が遺したアイヌ語十勝方言資料」

講師：吉川佳見（北海道博物館 アイヌ民族文化研究センター 研究職員）